



埼玉県杉戸町議会
平成30年5月1日発行



倉松公園の桜並木

こんにちは 杉戸議会です

2018(平成30年)
3月議会

人口減少・少子化にどう対応

平成30年度一般会計（120億円の使い道）	P 2
特別・企業会計予算	P 6
条例・補正予算・人事	P 8
町政を問う（一般質問に12人登壇）	P11
視察・研修報告	P18
議会基本条例の検証結果	P19
議会報告会の開催告知	P20

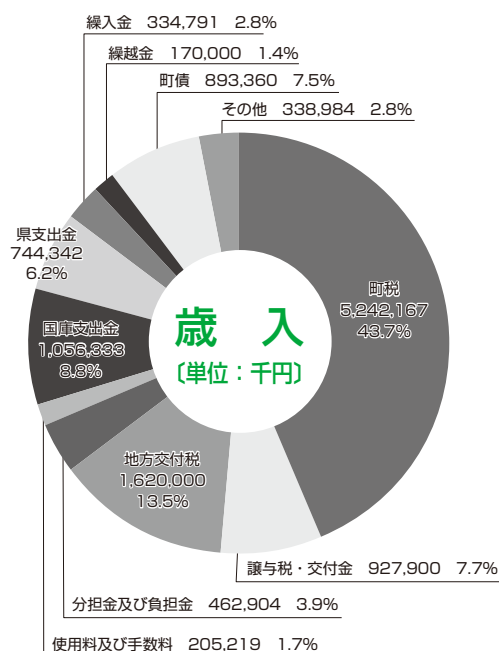
少子化にどう対応

平成30年度

一般会計
予算総額

119億9600万円

前年度比
1.5%増

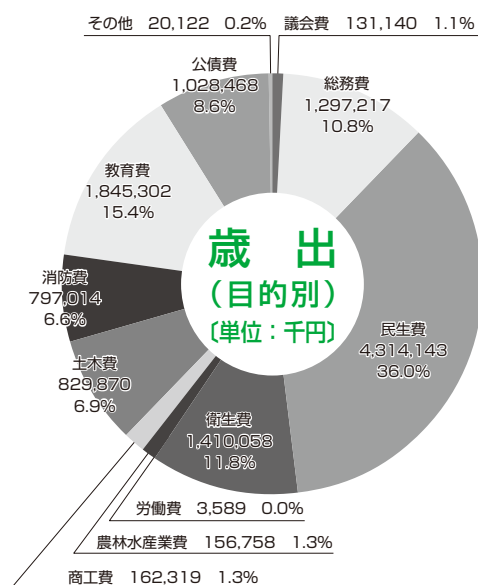


歳入 前年度から増減の主なもの

町税	3235万円減(0.6%減)
(詳しくは総括質疑に掲載)	
地方交付税	2200万円減(1.3%減)
うち(普通交付税▲3200万円 特別交付税1000万円)	
国庫支出金	4115万円減(3.8%減)
町債	1億3931万円増(18.5%増)
うち(中央幼稚園保育棟改築整備事業債1億1250万円)	
線入金	8318万円増(33.1%増)
(財政調整基金線入額の増)	

歳出 新規、前年度より増減

新 防災行政無線デジタル化設計	810万円
放課後児童クラブ運営管理事業	5540万円(491万円減)
新 子育て世代包括支援センター 運営管理事業(基本型)	296万円
(母子保健型)	405万円
環境センター補修、更新等工事費	2億667万円(7525万円増)
新 高野農村センター空調改修等工事費	1950万円
新 杉戸宿魅力発信拠点施設維持管理事業	1206万円
新 町道Ⅱ級1号線歩道整備工事費	7257万円
新 各小中学校普通教室等空調機設置工事設計	1325万円
新 中央幼稚園保育棟改築等工事費	1億6118万円



平成30年第1回定例会は2月15日から3月16日まで30日間の日程で開催しました。町長から提出された議案は当初予算、条例一部改正、補正予算、人事など37件でいずれも原案を可決、承認しました。一般会計予算は予算特別委員会で4日間審議し、議会最終日に賛成11名、反対3名で可決しました。審議内容を一部ご紹介します。

総括質疑(一部)

全体はHPにて掲載予定です。
ぜひご覧ください。



すぎと幼稚園 新入園児

人口減少

是新 大橋芳久

人口減少対策の予算は

問 人口減が想定より速いペースで進んでいるが、その対策は予算に反映されているのか。

答 人口減少対策は少子化対策と子育て世代の経済安定策にあると考えており、中央幼稚園保育棟の改築や子育て世代包括支援センターの設置、小中学

自民クラブ 坪田光治

町税減収の根拠は

問 町税収入は、前年度に比べ0.6%減の52億4216万円と見込んだ根拠は。

答 個人町民税はここ数年総所得額が増えており、増収を見込む一方、法人の事業停止の影響などにより減収を見込んでいます。固定資産税は杉戸屏風

子育て支援は

日本共産党 石川敏子

問 子育て支援では①保育園の待機児童の解消②子供の貧困対策にかかわる予算③小中学校教室へのエアコンの設置工事や稼働はいつ頃になるのか。

答 ①平成30年度当初1歳児において待機児童が出る見込みです。この状況は重く受けとめています。施設整備などの対応は財政負担を進めています。

公明党 伊藤美佐子

施政方針の具体策は

問 厳しい財政状況にあっても「節約」と「未来への投資」と「未来への投資」と積極的に取り組むとしているが具体策は。

答 限られた財源で様々な事業を実施していくために、内部管理経費の圧縮に努めています。対前年度より消耗品費約280万円、光熱水費約135万円の節減、事務事業の総点検により約1



屏風深輪産業団地

どうなる 福祉・教育・くらし

平成30年度
〈一般会計〉

— 予算特別委員会 —

3月2日・5日・6日・8日

歳入

予算特別委員会では、課長・主幹・主査が出席し、テーマごとに審査しました。

主な質疑

公共施設改修基金

問 公共施設改修基金3億6000万円を活用しないのか。

答 施設の更新費用、将来の改修需要が多額になるため、今年度の繰り入れは見送りしました。

新 杉戸高野台駅南方線付き点状ブロック整備

問 町の負担額は。幸手市の協力は。時期は。

答 総事業費1250万のうち、国・県の補助を受け、町の負担は200万です。幸手市の協力はありません。8、9月の一ヶ月程度の整備日程と聞いています。

屏風フットサルパーク

問 平成29年度の利用実績と、平成30年度

の取り組みは。

答 平成29年11月の開始以降、24団体です。広報紙や、ホームページだけでなく、関係団体等に働きかけていきます。また、自動販売機の導入や、ナイター照明設備の整備手法等検討していきます。

市民農園リニューアル



市民農園

問 市民農園賃貸料が67万6000円に増えた根拠は。

答 区画変更に伴い、68区画全て埋まる想定となりました。

問 もうかる農業としての推進は。

答 都市近郊型土地利活用推進として市民農園をマッチングさせ、多面的な複合経営による所得の向上を考えています。

放課後児童クラブ

問 免除対象となる保育料は運営に反映されているのか。

答 町がその部分をきちんと賄っています。が歳出のバランスをとりながら検討します。

問 西放課後児童クラブは二分割にすれば補助金が増えるのでは。

答 適正な人数（40）等も踏まえながら、指導員の確保も含め、分割の研究検討を進めます。

歳出

主な質疑

新 子育て世代包括支援センター

問 今までの支援との違いと開設時期は。

答 全ての妊産婦および乳幼児並びに保護者にケアプランを作成し、プライバシーに配慮した切れ目のない強固な相談体制になります。10月開設予定です。

臨時職員の待遇

問 待遇の改善は。

答 保育士、放課後支援員の賃金は、引き上げを予定しています。

地域福祉事業補助金

問 増額になった理由は。

答 新たに福祉車輛貸出事業に18万1000円を充当しました。

問 充当事業を拡大する考えは。

答 歳末たすけあい等単独事業にも率先して充当していく考えです。

新 結婚支援事業

問 内容は。

答 県の支援事業参加負担金で、AIマッチング、イベント提供、結婚までの細やかなサポートをしていきます。

待機児童問題

問 待機児童の状況と対策は。（平成30年2月末現在）

答 0歳児28名、1歳児10名の状況です。0歳児に関しては、保育士確保等解消に向けて努力していきます。動向を注視しつつ財政バランスを考慮しながら慎重に検討します。

新 不妊検査・不妊治療費
助成金

問 詳細は。

答 検査は妻の年齢が43歳未満の夫婦で、上限2万円です。治療費は妻が35歳未満で上限10万円です。県の助成金30万円と合わせてほぼ全額をカバーできる見込みです。



新 杉戸宿魅力発信
拠点施設

問 工事日程と活用方法は。

答 6月に外構工事が完了します。流灯祭、

農商工の物産市、町歩き休憩等の利用が主になります。

問 1億2864万円の活用は。

答 近隣住民との相互理解のもと、集客イベント以外での利用法等調整していきます。

新 屏風深輪産業団地

問 進出企業数と、町内雇用の見込みは。

答 8社が決定しています。全雇用者の30%の町内雇用を目指します。

**東武動物公園駅
東口通り線整備事業**

問 進捗状況は。

答 区域内の建物補償調査、個別説明会を行い、おおむね同意されています。県の街路事業認可に向け、着々と整いつつあります。

環境センター修繕費

問 40%増の理由は。

答 万が一の焼却設備の故障や経年劣化が進む建物の損傷に早急な対応をとり、安定したゴミ処理を継続させるためです。

反対 日本共産党
森山哲夫

町長選挙で「待機児童のない町をつくる」と公約したにもかかわらず、平成30年度当初から多数の待機児童を出す事態を招いていること。
放課後児童クラブの児童数は「おおむね40人以下とする」と条例では定めながら、定員60名のクラブを4つも放置。西放課後児童クラブについては定員90名に増やそうとしていること。
エアコン設置のための予算措置が、西幼稚園にだけ付いていないこと。
以上から反対します。

新 小中学校エアコン設置

問 設置の方式と時期は。

答 ガス方式です。国の補助金活用を考慮しています。補助金が採択されれば工事費は平成30年度補正で計上します。

賛成 是新
大橋芳久

東武動物公園駅東口通りの線の整備の促進、小中学校の普通教室にエアコンが設置される目途がついたこと、屏風深輪産業団地の稼働など、将来の展望がなかなか見えなかった事業に前進するための予算措置が取られたことを評価し、賛成します。
一方、人口減が想定以上に進んでいるので、魅力あるまちづくりを要望します。

教職員用パソコン

問 台数と使用開始時期は。

答 全体で204台で全教職員の机に配置します。10月使用開始予定です。

賛成 公明党
平川忠良

「未来への投資」施策への予算に対し、評価します。具体的には、杉戸宿魅力発信拠点施設の活用、東武動物公園駅東口通り線整備や妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の開設、中央幼稚園保育棟の改築、さらに各小中学校普通教室のエアコン設置工事設計です。設置工事には、国の補助金が活用できるよう国に働きかけていきます。

新 杉戸中学校トイレ改修
※補助採択のため
平成29年度事業です

問 内容と工事日程は。

答 洋式化、乾式床、トイレブースの入れ替え等、全面改修を予定しています。平成30年度から2ヶ年計画で行います。

賛成 自民クラブ
坪田光治

平成30年度一般会計予算は、総額119億9600万円、前年度比15%増の積極予算であり、中長期的な視点で「節約」と「未来への投資」に取り組もうとする予算と評価します。
「杉戸町」を未来に向け発展させる夢を実現するため、特に、東武動物公園駅東口通り線とその周辺の整備、小中学校のエアコン設置の早期実現と、そのための国・県補助金等の獲得に期待します。

特別・企業会計予算

総額 111億9294万5千円 9.3%減

特別・企業会計予算

区分	平成29年度	平成30年度	増減率
特別会計			
国民健康保険	64億2876万9千円	51億4593万1千円	△20.0%
後期高齢者	4億5615万5千円	5億1992万3千円	14.0%
介護保険	28億4977万3千円	28億7999万4千円	1.1%
公共下水道	10億2766万9千円	10億1745万円	△1.0%
企業会計			
水道事業	15億8452万8千円	16億2964万7千円	2.8%
計	123億4689万4千円	111億9294万5千円	△9.3%

国民健康保険

賛成11・反対3で可決

平成30年度より広域化が実施され、国民健康保険の財政の責任主体は埼玉県となり、毎年県が積算した納付金を支払うことになります。

主な質疑

問 平成30年度予算における1人当たりおよび1世帯当たりの国民健康保険税は。

答 1人当たり7万9924円、1世帯あたり13万3569円です。

反対 日本共産党
森山哲夫

平成30年度は、国保税の増税によって、加入者には多額の負担増が押しつけられる予算となっています。今回の税率改定による影響額は、加入者1人あたりでは4526円程度の増税となる見込みですが、家族が多い世帯では、1人あたり2万円以上もの負担増となるケースも出てきます。これまでと同様の財政措置をとれば、今回の値上げは十分回避することができ、高すぎる国保税は引き下げて、「加入者が支払える国保税」とすべきです。

後期高齢者医療

賛成11・反対3で可決

埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施している後期高齢者医療保険は2年ごとに見直しされ、平成30・31年度の保険料が決まりました。「特別対策を縮小し、75歳以上の社会的弱者に対して負担増に反対するとともに年齢で差別する医療保険は廃止を」との反対討論がありました。

主な質疑

問 特定健康診査予約サービス業務とは。

答 集団検診のインターネット予約で、3日間の電話予約に先行して、6日間の先行予約を行っています。

問 平成30年度・31年度の税率改定が行われ、税率が下がっているのに、1人当たりの平均保険料が6万5806円、2433円増えている理由は。（左下の表を参照）

答 被保険者数見込み464人増による医療給付費の増加や保険料軽減特例の見直しなど複合的な要因によるものです。

問 滞納状況は。短期保険証の発行は。

答 滞納繰越分では、38人、158万640円です。現年度分では、95人、259万4520円です。

後期高齢者医療 保険料率比較表

平成28・29年度の保険料率	
均等割額	42,070円
所得割率	8.34%

平成30・31年度の保険料率	
均等割額	41,700円
所得割率	7.86%

問 限度額が57万円から62万円に増えているが影響は。

答 平成29年度保険料付加時、付加限度額57万円の方は59名、その内限度超過額5万円以上の方は51名、平成30年度付加限度額62万円の影響額は255万円です。

円です。短期保険証発行の実績はありません。

介護保険

賛成11・反対3で可決

平成30年度第7期介護保険事業計画初年度で、第1号被保険者保険料の年額は5万1200円で、年額6100円引き下げます。

主な質疑

問 「地域包括支援センター」西地区への増設の今後の計画は。

答 4月公募、5月委託先の選定、県へ補助金の申請、平成31年4月に開所予定です。

反対 日本共産党
阿部啓子

反対の第1は、介護保険料の引き下げが十分でないことです。基金は5億円以上あり、平成30年度の取崩額は、3178万円でした。基金を活用し、保険料は引き下げるべきです。

第2は、昨年度から派遣の専門家がボランティアに代えた体操教室に加え、介護専門家の配置を縮小していることです。

第3は介護老人福祉施設整備の目的がなく、待機者は41名と減少していないことです。町が指定できる地域密着型介護老人福祉施設など施設整備を進めるべきです。

賛成 公明党
平川忠良

平成30年度は第7期介護保険事業計画初年度で、引き続き徘徊高齢者見守りシール作成や認知症徘徊声かけ訓練の実施、提案してきた西地区に新たに「地域包括支援センター」が開設されることは喜ばしいことです。介護保険料は月額4770円から4261円へ、年額で6100円引き下げとなり、埼玉県63市町村で低い方から2番目となりました。今後も基金を保険料上昇緩和に活用し、町民の負担軽減につながるよう強く要望します。

公共下水道事業

賛成11・反対3で可決

平成30年度予算は、前年比1%の減を見込み、下水道区域拡大のため、引き続き内田4丁目地区の面整備を実施します。

主な質疑

問 使用料改定に伴う平成30年度の影響額は。

答 2489万6928円で、1世帯当たり年額1992円です。

反対 日本共産党
森山哲夫

反対する第1の理由は、平成28年から実施された料金の値上げによって、平成30年度においては一世帯あたり1992円、総額では約2490万円の負担増がもたらされるという点です。

実質賃金や家計消費が低迷するなかで、こうした負担増は認められるものではありません。

第2の理由は、今後の、「料金引き上げの仕組み」をつくることになりかねない予算措置が30年度予算においても講じられていることです。

賛成 自民クラブ
勝岡敏至

平成30年予算では、内田4丁目地区を公共下水道に接続するため、污水管の整備が計上されています。

今後も事業計画区域の整備完了と下水道の普及に務めるよう、さらに下水道水利用率の向上と、受益者負担公平性のものと、下水道使用料および受益者負担金の滞納対策に取り組む、より効果的な事業運営を推進されることを期待し、賛成討論とします。

水道事業

賛成11・反対3で可決

主な事業として、第2配水場ろ過機の更新工事と内田4丁目地内公共下水道工事に伴う配水支管布設替工事を実施します。

主な質疑

問 上水道事業経営審議会とは。

ある中長期的な経営の基本計画、経営戦略を策定、開催を年5回予定しています。

答 水道使用者と識見者9名で、実効性の

反対 日本共産党
森山哲夫

杉戸町の水道加入金は、口径20ミリでは県内で4番目に高く、全県平均の1.6倍にもなっています。全県の平均よりも15万4千円も高い加入金を徴収しているのです。高すぎる加入金は、せめて県平均並みに引き下げて、定住人口の増加につなげるべきです。

平成29年度末の利益剰余金は5億5千万円となり、平成30年度においては6千万円以上の純利益が出ることも見込まれています。高額の加入金の引き下げを行うことは十分に可能です。

賛成 自民クラブ
窪田裕之

平成30年度は、資本的収入の大幅な減額や支出の増額で収入に対し支出が大幅に上回っています。また第二配水場工事や配水支管工事が予定されており起債で補てんされている状況です。

水道給水量が減少する中、水道経営も厳しい状況です。今後も安心安全な水の供給、いつまでも使える水道、未来に続く事業運営を目指し、また、財政基盤を強化し、適切な財源確保にて水道の安定供給を図っていくことを希望します。

第7期介護保険料

介護給付費準備基金2億5千万円を取崩し、

保険料月額基準額を1人4,770円から4,261円に!
(6期比509円、10.7%減)

答 そのように考えますが、不測の事態に備えるためや、将来の保険料の上昇緩和のため、また、高齢者保健福祉審議会からの意見などを尊

問 介護給付費準備基金は取り崩すという原則からすると、第7期は基金を大方取り崩すことが基本ではないか。

答 低い方から33番目です。

問 第6期の介護保険料は県内で低い方からどれくらいか。

答 低い方から13番目です。

問 1人当たりの介護給付費は県内で低い方からどれくらいか。

介護保険料は3年ごとに改定されます。今議会では、第7期(平成30年度から平成32年度まで)の保険料に関する審議が行われました。約5億円ある基金の取崩し額を巡って、阿部啓子議員から修正案が出されましたが、原案を賛成多数にて可決しました。

原案に対する主な質疑

原案と修正案の主な違い

現在ある約5億円の基金を次期(第7期)に

【原案】→2億5000万円を取崩すことで保険料を月額4,261円に。

【修正案】→4億円取崩すことで保険料を月額3,975円に。

問 現在の普通徴収の滞納状況は。

答 平成30年1月末現在、493人、約2076万円です。

重し、ある程度の基金を保有しておくことにしました。

問 給付に応じた保険料とすべきだと考えるが、町の考えは。

答 今回減額改定するので、介護給付費に見合う保険料水準になるものと考えます。

原案に賛成です
是 新
須田恒男

今期、基金残高が約5億円となりましたが、今後、高齢化の進展や、消費税の引き上げなどによる介護報酬の引き上げが予測されます。改定後の保険料は県内で下から2番目となり、十分軽減できます。基金の使い道は意見が分かれますが、残る基金を次期以降の保険料の低減に充てることに町民の理解が得られると考え、賛成します。

修正案に対する主な質疑

問 基金を全額取り崩すのではなく、1億円残すことをどう考えるのか。

答 他の自治体では全額取り崩しているところもありますが、原案を尊重し基金を残すことにしました。

原案に賛成です
公明党
伊藤美佐子

基金は原則取崩すべきものだと考えますが、将来に対する不測の事態や、将来の保険料の上昇緩和のため、一定の基金を残す必要があると考えます。2025年を見据えた町の考えや、高齢者福祉審議会から将来の保険料を平坦にしてほしいという意見もありました。これらのことから原案を妥当と判断し、将来の保険料水準を見据えた対応を要望し、賛成します。

問 高齢者福祉審議会では将来の急激な負担増を防ぐためにも原案を支持する考えだが、修正案ではどう考えるのか。

答 介護保険料は給付見込みをもとに、介護給付に応じた保険料にすべきだと考えました。

修正案に賛成です
日本共産党
石川敏子

第6期では基金が計画より大幅に増えました。あまったお金は第6期で支払った保険者に返還するのは当然です。また、基金は介護給付費に活用すべきであり、第8期以降に使うのではなく、直近の第7期で活用すべきものです。基金を半額ではなく、その8割を取崩し、年額約1万円引き下げ、納税に苦しむ人たちの負担軽減を図るべきと主張し、修正案に賛成します。

杉戸宿魅力発信拠点施設設置及び管理条例

埼玉農機の跡地を買収して、建物を取り壊し、杉戸宿魅力発信拠点施設を建設中です。今議会で、当施設の活用に関する条例を審議しました。

主な質疑

全員賛成で可決

問 当面は、町主催イベントなど限定的な活用としているが、多様な活用ができるようになるか。

答 作業は流灯工房と当施設で行い、資材は当施設に保管します。

答 周辺住民からの理解を得られるようにしていきたいです。

問 トイレも併設されるが、どう活用するのか。

答 24時間利用することができます。街歩きしている人などに利用してほしいです。

問 建築後、流灯まつりの作業や保管はどうなるのか。



魅力発信拠点施設（イメージ図）

魅力発信拠点施設整備にかかった金額

用地取得	4287万4千円
解体・建築等	7411万5千円
外構等	1165万円
計	1億2863万9千円

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会などに関する法律の規定に基づき、農業委員会の委員と農地利用最適化推進委員の定数を定めるとともに、農業委員会委員などの報酬額が改まります。

主な質疑

全員賛成で可決

問 農業委員の中立委員は利害関係を有しない者を含めなければならないとしているが、どのような人を採用するのか。

答 西地区2名、中央地区2名、南地区2名、東地区4名、泉地区2名で考えています。

答 行政職員OBや、商工団体からなど、農水省の想定より幅広く考えています。

問 推進委員は12名になるが、区域としては何区画で何人なのか。

答 農協関係者にも周知ができていいると考えるため、応募・推薦をしてもらえるのではと考えています。



今回の主な改正点

- 議会同意の上、農業委員を任命(上限14人)
- 農業委員会の委嘱により推進委員が新設(上限12人)

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

行政区制度の見直しにより、副区長を廃止するとともに、区長代理者の年額報酬を7万7800円から3万8900円と半額にするものです。

主な質疑

全員賛成で可決

問 行政区の分割の検討期間はいつまでと考えているのか。

問 世帯数の多い行政区と少ない行政区の差はどれくらいか。

答 平成30年4月から1つの行政区のみ対象ですが、それ以降も相談があれば個別に協議に応じます。

答 一番多いのが1の2区で1819世帯、一番少ないのが6区で131世帯です。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

18歳未満の被保険者が3人以上いる世帯について、3人目から減免規定を追加するものです。

主な質疑

全員賛成で可決

問 18歳未満の子どもに対し、すべて軽減するのとときに必要な財源は。

問 今回の軽減対象は、最大一世帯当たり子どもが何人対象となるか。また、その影響額は。

答 対象者は約860人で、最大約3000万円となります。

答 子どもが5人いる世帯で3人が対象となり、最大約11万円の軽減になります。

放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

西放課後児童クラブの収容定員を60人から90人へ増員するための条例です。定員の増員ではなく、2分割にするべきであるという反対討論もありましたが、賛成多数で可決しました。

主な質疑

賛成11・反対3で可決

問 支援員数の変更はないということだが、それで子どもの安全は保たれるのか。

答 平成30年4月の平均登録児童数は64人を想定していて、平成29年度と同程度となる見込みであるので、対応可能と考えます。なお、長期休業日には支援員を1名増員する予定です。

向けて努力していきます。
問 定員を増やすだけで、分割することは考えなかったのか。

答 プレハブ校舎の余裕教室を活用することが可能になったため、まずは1人当たりの面積要件の緩和を目指しました。今後は2分割の可能性を含めて、研究します。

問 設備および運営に関する条例には「支援の単位をおおむね40人以下とする」とあるが、90人というのは違反するのでは。

答 90人の定員は、適切だとは考えていませんが、一つ一つ改善に



平成29年度一般会計補正予算（第8号）

今議会では、土地売払収入の追加などにより1637万円を追加し、総額119億8258万円とする補正予算が計上され、審議を行い全員賛成で可決しました。

主な質疑

全員賛成で可決

臨時福祉給付金支給事業

問 今年度の支給の結果は。

答 支給率は88・3%で過去2番目に高い水準です。

緑越明許（町道2069号線他）

問 町道2069号線、Ⅱ級10号線の道路改良事業が緑越明許になった理由は。

答 大雪の影響や、コンクリート二次製品の納入が遅れたためです。

土地売払収入

問 この中に中央第二幼稚園跡地も含まれるが、その土地の面積

と単価は。
答 3筆で、面積が約1792㎡、売払価格は約2200万円です。

問 その算定根拠は。

答 更地価格から解体費用を引いた1450万円を最低額とし、入札を行いました。



平成29年度一般会計補正予算（第9号）
平成30年度一般会計補正予算（第1号）

平成30年度に行われる予定の杉戸中学校管理・特別教室等のトイレ改修工事（Ⅰ期）が、国の補正予算の関係で平成29年度に補助事業で行える見込みがたつため、平成29年度の事業として追加すると同時に、平成30年度の事業としては削除する補正予算の審議をしました。

主な質疑

全員賛成で可決

問 今回起債する補正予算債は、他の事業には使えないのか。

答 町にとつて極めて有利な起債ですが、国の補正予算の対象事業として決定された事業にしか起債できません。

問 中央幼稚園の建て替えなど、より大きな事業を補助対象事業としなかった理由は。

答 杉戸中学校のトイレ改修工事は設計も完了し対象工事費が算出されていたためです。他の事業は申請できません。

問 Ⅱ期工事もあるが、Ⅰ期工事と合わせて

答 教育活動への影響を考えると、Ⅰ期が夏休みになるので、それを考えると難しいです。

問 前年度も年度末に国庫補助がついた事業があったが、それを見できないのか。

答 対象事業が年度に異なるのは難しいです。

人事

副町長
竹内 康樹氏（新任）



町政を問う

3月定例会の一般質問は、2月21日、23日、26日に12人の議員が登壇し、防災、子育て、学校教育、まちづくり、福祉、土木などについて、町の考えをたしました。

質問項目は下記のとおりですが、その一部の質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

なお、他の質問内容を知りたい場合には、町議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をご利用ください。3月定例会の会議録は、6月上旬に掲載予定です。



○伊藤美佐子議員

1. 住民の足となる公共交通の今後は
2. 町の学校給食費無償化の考えは
3. 町外から多くの人を呼び込む体制づくりを

○森山哲夫議員

1. 子育て世帯の負担軽減を
2. 臨時・非常勤職員の処遇改善を

○平川忠良議員

1. 通学路の安全対策の推進を
2. 空き家対策の今後は
3. 災害時要配慮者への支援は

○原田壽々子議員

1. 町民サービス向上の取組は
2. 子育て支援センターの役割
3. 中学生の学力向上に向けて
4. 道路交通安全対策は

○坪田光治議員

1. 所有者不明土地の実態と対策は
2. 個人情報の取り扱い

○石川敏子議員

1. 西放課後児童クラブは2分割に
2. 住宅リフォーム制度の創設を
3. 除雪の取組は

○須田恒男議員

1. 賑わいを実感できる町づくりを
2. 市街地の活性化を
3. 安心な道路に

○仁部前崇議員

1. 杉戸町の将来は

○阿部啓子議員

1. 安心して高齢者が暮らし続けられる計画に
2. 人口減少に歯止めをかける効果的な施策を
3. 杉戸町障がい者福祉計画で障がい者施策の進展は

○勝岡敏至議員

1. 町の寒さ対策は

○窪田裕之議員

1. 防犯体制の整備は

○大橋芳久議員

1. みんなでつくるまちづくり支援制度
2. シニア世代の活動は

平成30年度に交通弱者の移動手段はどう決まるのか

公共交通の一番良い在り方を考えていきます

問 昨年のアンケートは

利用者のみが対象であり、

また、「現在の巡回バスの

のまがが良い」と回答し

た方は6割しかない。

デマンドバスの要望もあり、幅広く町民の意見を聞く必要があるのでは。

答 住民参加推進課長

町民全体の調査や、各行政区長を通じて意見を伺

う等、今後検討します。

問 今後の方向性を決定

する前に、業者との事前協議が必要では。

答 住民参加推進課長

必要性は感じています。

今後、事前協議も含め、公共交通の一番良い在り方を検討していきます。

問 学校給食費無償化の考え

国は給食費無償化に

関する全国調査に乗り出したが、当町の考えは。

答 教育次長 賄い材料

費についての負担は、ご理解頂ける範囲と考えています。

問 現在は教科書の無償

化は当たり前となり、医療費も段階的に負担軽減が進んでいます。このよ

うな教育費の負担軽減が



伊藤美佐子議員

図られる中、当町でも給食費無償化について検討すべきでは。

答 教育次長 財政状況

が厳しいため、現状では難しいと考えています。

しかし、給食費無償化や補助は全国的な問題であるため、今後、県内各市

町はもちろん、全国的な動向を見ていきます。

▼ 現在の交通機関・巡回バスはどうなる



子育て世帯への課税強化はやめよ

とりあえず町独自の減免措置を講じます

問 市町村国保は世帯内

の加入者数に応じて賦課される均等割があるため、多子世帯ほど負担が重くなる。担税力のない子どもに課税することは、子育て支援に逆行するものであり、子どもへの均等割課税は廃止すべきと考えるが、町長の見解は。

答 町民課長 税負担の

原則からすれば困難ですが、子育て世帯の生活に大きな影響を与え、少子化を助長するおそれもある。軽減措置を講ずるよう今後とも国に対して強く要望していきます。

問 18歳未満の子どもが

3人以上いる世帯の第3子以降の均等割を全額免除する制度を、当町でも

実施する考えはないか。

答 町民課長 今議会に

おいて、同様の条例改正案を上程したところです。

問 12月議会で行った税率の改定、均等割の引き上げは、子育て支援に逆行するものではないか。

答 町民課長 多子世帯

への負担増は大変なものではないかという認識か

答 町長 この件について、財政状況を鑑みながら考えたいと思います。

ら、今回減免することになりました。

問 今回の条例改正案は

「3人目から」という内容だが、行く行くは2人目以降とか、さらには1人目からとか、拡充していく考えはあるのか。

答 町長 この件について、財政状況を鑑みながら考えたいと思います。

通学路の安全対策「ゾーン30」の指定を

地域住民や警察署との協議が必要です

問 歩行者の安全を守るため、通学路などの生活道路で区域を定めて車の最高速度を時速30キロに制限する「ゾーン30」が全国的に3105カ所まで増え、効果を發揮している。そこで、町内の通学路を「ゾーン30」に指定できないか。

答 「ゾーン30」は歩行者等の通行を最優先にするもので、ゾーン内の通過交通を抑制することを目的としています。具体的には車道外側線を広く設置し、歩行者等の通行に十分な幅員を確保し、車道幅員を減少させることにより、その区間を通過する車を減らすことができます。

ます。「ゾーン30」を指定するには、エリア内の住民にもこの規制が適応されますので、指定する地域住民や警察との協議を行う必要があります。

問 町道1級12号線（通称たけやま通り）は、制限速度30キロの通学路です。しかし抜け道として利用されており、通勤時間帯は、他県ナンバーの車が制限速度以上のスピードで走行している。「ゾーン30」の指定はできないか。

答 住民参加推進課長 町としても、この道路の状況を確認しています。今後はゾーン30も含め、交通安全対策の協議を進めていきます。



平川忠良議員



▼ この道、一刻も早く「ゾーン30」の指定を



▲ 杉戸のファミリーサポート事業をもっと活用しよう！！



原田壽々子議員

問 町の子育て情報のツールとして、子育て支援アプリ導入の検討は。

答 子育て支援課長 県が開発している子育て支援アプリが3月に完成します。機能や近隣の動向、費用対効果を考慮し、共同利用に参加するか検討したいと考えています。

問 ファミリーサポートセンターの役割

答 ファミリーサポート事業の現状は。

問 インターネットです約等できるシステムを導入する考えは。

答 子育て支援課長 依頼会員や件数が増えているため、今後研究を進めていきます。

携帯アプリを活用して子育て支援のさらなる充実を

県の進める子育てアプリの共同利用の検討を進めます

問 子育て支援課長 依頼会員や件数が増えているため、今後研究を進めていきます。

問 中間テストでは、6教科を一日で行っている。日程に余裕を持たせては。

答 学校教育課長 教育課程編成の主体は各学校にあります。各学校にて適切に編成、実施していくことになります。

問 中間・期末テストの日数が短くなった理由は。

答 学校教育課長 週5日制により、各中学校で

所有者不明土地の実態と対策は

相続登記の普及啓発を図っていきます

問 全国的に登記簿上で所有者がたどれない「所有者不明土地」が増え続け社会問題化している。原因として相続登記が義務ではないこと、登記費用負担の問題、資産価値が低い、相続人が増えすぎた等がある。町の実態と公益上の影響は。

答 税務課長 当町にお

ける所有者不明土地の実態は把握していませんが、さまざまな事業において影響が出ていると認識しています。公益上の影響は固定資産税の課税保留、生活環境や治安の悪化、土地利用の停滞などが考えられます。

問 平成29年度の固定資産税納税通知書の発送件

数と不達返戻の件数は。
答 税務課長 発送件数は1万8775件で、返戻件数は8件です。
問 法定相続人が不存在の場合や、相続を放棄している場合の課税保留件数は。
答 税務課長 現時点で12名分です。

問 所有者不明土地問題を

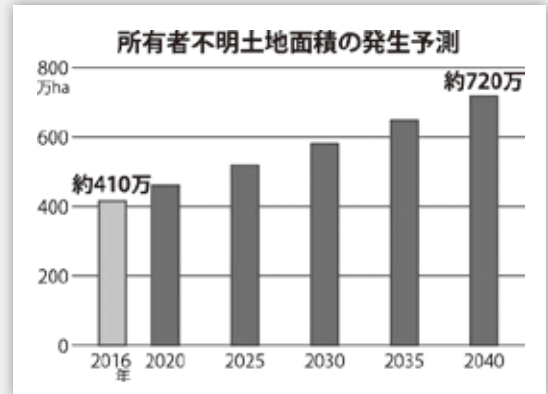
の解消に向けた取組は。

答 税務課長 ノウハウの蓄積や担当者間の引き継ぎを適切に行い、土地所有者の死亡が確認できた際には、相続人の方に相続登記の必要性や相談先などを明記したパンフレットを配布するなど行い、相続登記の普及啓発を図っていきます。



坪田光治議員

▼ 「所有者不明土地問題研究会」の試算より引用



西放課後児童クラブは2分割に

60人から90人へ、定員枠を拡大します

問 西放課後児童クラブは人数が増え、プレハブ校舎の教室を改修し拡大したが、現在のクラブから離れており、実際にはあまり活用されていない。内田・内田第2放課後児童クラブのように、2分割すべきでは。



石川敏子議員

答 学校教育課長 2分割するにはリーダーの育成、支援員の確保、設備の改修等が必要となるため、慎重に検討します。

問 町は放課後児童クラブの支援の単位を何人とみているのか。

答 学校教育課長 適切な規模とは捉えていませんが、人材不足等の問題があるため、今後研究していきます。

問 学校教育課長 国の指標等に示されている40人を目指していきたいと考えています。

答 学校教育課長 子供

問 副町長 2分割すればさらに町の予算が必要となります。予算は限られているため、財政状況を踏まえながら、的確な政策をとっていきます。



▲ 西第2放課後児童クラブとして使えるように

問 学校教育課長 2分割するにはリーダーの育

成、支援員の確保、設備の改修等が必要となるため、慎重に検討します。

問 学校教育課長 子供

問 副町長 2分割すればさらに町の予算が必要となります。予算は限られているため、財政状況を踏まえながら、的確な政策をとっていきます。

市街地の活性化に向けて

事業として成り立つのか検討しています

問 市街地活性化に向け、中央公民館付近の開発を
する考えは。

答 町長 具体化はして
いませんが、民間事業
者等からアイデアを頂き、
事業として成り立つか検
討しています。

安心な道路に

問 御成街道（下野地区）
の歩道設置工事が予定さ

問 御成街道から久喜市

問 賑わいを実感できる街づくり
アグリパークゆめす

に通じる道路の拡幅は。

答 都市施設整備課長

久喜市の工事予定はない
そうです。杉戸町内につ
いては、交通量が増えて
おり、拡幅の必要性は感
じています。しかし、普
通建設事業の休止に伴い、
見直しは立っていません。

賑わいを実感できる街づくり

アグリパークゆめす



須田恒男議員

ぎとを核とした観光誘致
策として、自転車の貸し
出し、杉戸宿案内人の会
との史跡めぐり、杉戸町
推奨土産店とのコラボ等
を提案するが、実施する
考えは。

答 農業振興課長 参考

にし、元気なまちづくり
の核となるよう努めます。

▼ 賑わいを実感できる市街地を創ろう



町の将来についてのシミュレーションは

地域・広域連携を推進し、持続可能なまちづくりを目指します

問 他市町に対し、杉戸
町の強みと弱みは。

答 政策財政課長 強み

は、自然環境や農地が豊
か、災害が少ない、都心
に比較的近い、人口規模

が充実している、人気ス
ポットがあること等です。
一方、弱みは、商業環境
や道路、公共交通機関、

町の知名度が低い、駅前
通りが狭く危険であるこ
と等が挙げられます。

問 町が生き残るために
重要なことは。

答 政策財政課長 人口

減少を克服していくこと
が重要であるとともに、
人口減少社会であること
に向き合い、公共施設の
総量や職員数の縮減等に

取り組まなくてはならな
いと考えています。その
ためには、雇用・子育て

の環境整備や近隣自治体
との地域・広域連携を、
これまで以上に推進して

いく必要があります。

問 自然環境や農地の豊
かさを維持していくのか。

もしくは、開発を行い発
展をさせていくのか。

答 政策財政課長 自然
環境や農地の豊かさは、
次世代に継承していくた
めに維持していきます。

一方、町の活力維持のため、
開発による発展も考
えていきたいですが、国
や県等の許可が必要で
新たな開発は相当厳しい
と認識しています。

▲ 町の将来を示す計画書



人口減少対策は産業団地雇用者の定住化で

町内雇用を進め、定住化に向けた取組も行う

問 深輪産業団地に続き

屏風深輪産業団地の拡張により、雇用者も増えることになる。これまで杉戸町への定住化策は講じられてきたのか。

答 商工観光課長 深輪

産業団地企業連絡会において、雇用者定住化に繋がるよう町のパンフレット等を配布しています。

なお、接触した企業からは、杉戸町周辺に住んでいる方を雇用していきたいと聞いています。また、平成30年度から町役場において求人情報の提供を拡大する予定ですが、併せて定住促進に繋がる情報も提供します。しかし、各企業により状況が異なるため、雇用確保の支援

問 調査結果では、深輪

産業団地の雇用者1530名のうち、町内在住者は362人です。滑川町では、子育て支援が充実していることから工業団地の雇用者が滑川町に定住し、人口が増加してい

る。杉戸町でも積極的に取り組んでは。

答 商工観光課長 屏風

深輪産業団地ではさらに町内雇用を増やすために、企業誘致条例の一部改正等を行います。また、子育て環境等についても順次PRしていきたいと考えています。



阿部啓子議員

▼ 深輪産業団地から帰宅する雇用者



大雪等による災害対策準備基金の設立は

必要に応じて、早期に対応を図ります

問 1月22日は大雪とな

ったが、道路の除雪や凍結防止剤の散布状況は。

答 都市施設整備課長

大雪による積雪に対して、職員による道路状況の確認や融雪剤散布を行うとともに、防災協定を結んでいる杉戸町建設協力会に除雪および融雪剤散布業務を委託しました。

問 水道管の被害状況と、

防止対策等の指導は。

答 上下水道課長 合計

131件の問合せがありました。防寒対策について、広報すぎと・すぎめ1・防災無線にて周知しています。

問 公用車のスタッドレ

スタイヤの装着状況は。

答 財産管理課長 公用

車80台中9台に装着しています。

問 スタッドレスタイヤ

未装着による影響は。

答 財産管理課長 一定

の業務対応はできたと考えています。

問 堆積した雪が道路を

狭小している現状を、どう考えているのか。

答 住民参加推進課長

現在、基金の設立の考えはありますが、災害発生時には、必要な予算措置を行い対応します。

問 災害対策準備基金等の

設立は。

答 住民参加推進課長

現在、基金の設立の考えはありますが、災害発生時には、必要な予算措置を行い対応します。

答 都市施設整備課長

大雪等による災害対策準備基金の設立は必要に応じて、早期に対応を図ります

過去3力年の支援団体数

平成27年度	48 団体
平成28年度	41 団体
平成29年度 (見込み)	37 団体

3年以上支援を受けている団体数 **29団体**

▲ 過去の支援団体数の推移と3年以上継続して支援を受けている団体数

問 実績報告書により効果を確認しているという

答 住民参加推進課長
審査委員会による審査を経た上で選考しています。

問 まちづくり支援制度は、自主的にまちづくりに取り組む住民団体に支援金を交付する制度であるが、この審査は厳密に行われているのか。



大橋芳久議員

問 何年も支援しないと継続できないのなら、支援ではなく延命では。

答 住民参加推進課長
審査委員会の中でしっかり

問 現場確認を行う場合もありますが、原則、報告書にて確認をしています。

答 住民参加推進課長
ことだが、それだけでは甘くないか。

問 支援団体を増やすために何をしているのか。

答 住民参加推進課長
支援金は、町や県が補助している事業には支援していません。

問 まちづくり支援金と補助金の識別は何か。

答 住民参加推進課長
りと審査し、支援しています。事業が育たないという認識はありません。

問 この支援制度は8年が経過しており、広く周知等されていると認識しています。

答 住民参加推進課長
要ではないか。

問 それらを見ない人にどう広めていくのかが重要ではないか。

答 住民参加推進課長
ホームページや広報などで周知しています。

原則報告書を基に検証

まちづくり支援金制度の効果の検証は

町の防犯に対する取り組みは

官民協働による防犯まちづくりを展開しています

問 町、警察、住民が一体となって犯罪の無いまちづくりに取り組むことが重要だが、特に子どもや高齢者等、社会的弱者を犯罪から守る取組は。

答 住民参加推進課長
小学校の下校時間に、職員による自主防犯パトロールを行っています。夜間においては地域安全

問 空間へ防犯カメラを設置する考えは。

答 財産管理課長
防犯カメラは犯罪抑止効果と、犯罪発生時には犯人検挙の有力な証拠となるため、非常に効果があります。しかし、プライバシーの問題や費用等の課題があり、設置は難しいと考えています。



窪田裕之議員

▼ 防犯パトロール



視察 議会運営委員会

「議会改革の取組み および 災害対応規定」について

茨城県 取手市議会・・・・・・・・・・ 平成30年1月25日

委員会としての意見

議会改革の
取り組みについて

① 第11回議会報告会から実施している「意見交換会」をより一層発展させ、「対話形式の意見交換会」の開催を検討すること。なお、この検討に当たっては、「意見交換会単独」が良いのか、これまで通り「議会報告会と一体的」が良いのか、その体制面について検討すること。

② 現在議会改革検討委員会において「予算決算特別委員会における質疑方法（時間制限・一問一答方式）」を検討を進めること。

災害対策規定
（害対応客集訓練について）

平成30年1月1日より施行の「杉戸町議会災害対策会議設

置規定」に定められている「所掌事務（第3条）（議員の安否確認、議員からの情報収集・整理・提案など）」について、実際に災害が起きた時、杉戸町議会災害対策会議の設置の流れや、どのような行動が必要なのかを確かめる上でも、災害対応招集訓練の必要性および実施について検討すること。



埼葛町村議長会研修報告・・・・・・・・・・ 講習会 1月19日 すぎとピア

「明確な強化育成プランの確立」について

昌平高校 サッカー部監督 藤島崇之

主な内容

藤島氏は、以前は全国大会優勝チームにて指導にあたっていたが、自分に何ができるか1からチャレンジするため、まだ環境の整っていない昌平高校への赴任を決めた。

赴任後、「時間がかかっても長く勝ち続けられるチームを育てていきたい」との考えをもって指導のスタートを切った。そのために必要なことは「明確な強化育成プランの確立」、すなわちチームデザインである。サッカー部を1つの組織として考え、プランニングとブランドイングの2つのポイントとして、チームをマネ



講演の様子

ジメントするのだ。説明は多岐に渡ったが、教育機関として選手を導き、サッカーを通じて人間的な成長を促していきたいという藤島氏の決意と、サッカーを楽しんでもらいたい、将来どのような形でもサッカーに関わってもらいたいという想いが、特に印象に残った。

結びに、藤島氏は「昌平高校サッカー部が活躍することにより、杉戸町のPRに繋がり、そして埼玉県の活性化へと繋げることができ。出来ない理由を探さずに、必ず日本一になるよう努力を重ねていきたい。最後に杉戸町より多大なるご支援を頂いたことに感謝申し上げます。」と述べられた。

杉戸町議会基本条例 達成状況を検証しました



議会基本条例とは

杉戸町議会基本条例とは、これまで以上に「わかりやすい・開かれた議会」を目指し、議会のあり方や議員の使命、議会に関する基本的事項を定めたものです。

検証の根拠

条例の第24条には、一般選挙を経た任期開始後に、この条例の目的が達成されているかどうかを、議会運営委員会において検証するものとしています。

検証の方法

委員会では、杉戸町議会基本条例の達成状況の検証をするため、「杉戸町議会基本条例達成状況検証実施要領」を策定し、同要領に沿って検証を進めました。

委員会開催日

平成28年10月から
平成30年3月まで、
計18回開催しました。

検証の結果

検証結果をまとめた「**杉戸町議会基本条例検証シート**」は、杉戸町議会のホームページよりご覧いただけます。



稲葉光男議長は、
1月16日に埼玉県町
村議会議長会副会長
に就任しました。



副会長に就任
埼玉県町村議会議長会

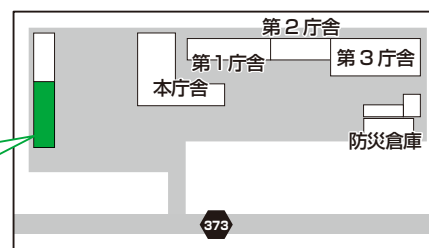
議会を
もつと
身近に!

第12回 議会報告会

議会報告終了後
本会議場の見学ができます。
この機会に
ぜひご来場ください。

日時 平成30年
5月19日(土)10:00~12:00

会場 杉戸町役場
文書保存庫第1会議室



当日は手話通訳・要約筆記があります

第1部 議会報告

平成30年度の一般会計予算
を中心に3月議会の
報告を行います。

申込み不要です

第2部 意見交換会

町政・議会に対する疑問や
質疑事項等に議員が
お答えします。

※事前に質問を募集

お気軽に
お越しください



町民の皆さまとの意見交換をより深めるため「参加される方」の質問を事前に募集します。質問されたいことを「質問用紙」に記入し、杉戸議会へお寄せください。

募集期間：平成30年4月19日(木)~5月9日(水)

提出方法：町公共施設に設置の質問用紙回収箱
郵送・FAX・メール・持参

詳しくは、町ホームページをご覧ください

議会を傍聴しませんか？

杉戸町議会では。年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と、議決を要する案件があった場合に随時開催する臨時議会が開会されています。

会議および委員会は、本庁舎2階の議会事務局にて受付簿に住所・氏名をご記入いただければ、どなたでも傍聴することができます。

日程は定例会ごとに異なりますので、ホームページにてご確認ください、議会事務局へお問い合わせください。



お問い合わせ先 議会事務局 33-1111 内線 224

お詫びと訂正

こんにちは杉戸議会です第98号（平成30年2月1日発行）の17ページの図に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

正

- ① 区長代理者の報酬半減
77,800円▶38,900円
- ② 副区長を廃止
- ③ 「配布物協力交付金」を「行政区運営交付金」と名称変更、交付金額の改定
1世帯当たり 810円▶860円
- ④ 22区（倉松）を3つに分区

誤

- ① 区長代理者を廃止
- ② 副区長の報酬半減
77,800円▶38,900円
- ③ 「配布物協力交付金」を「行政区運営交付金」と名称変更、交付金額の改定
1世帯当たり 810円▶860円
- ④ 22区（倉松）を3つに分区

議会を傍聴して



杉戸在住
寺田竹雄さん

久しぶりに議会審議を傍聴。質疑応答の様子は、丁寧に進められていました。

本日の最終の質問は、「シニア世代の活動」でした。その活動推進は、財政面への好影響、個人の健康面に効果ありと考えられ、町の活性化につながるものと思います。現状把握、その推進、アクティブシニアの地域デビューを積極的に応援する県と連携、協力し、活動するシニアが増えていくことを願っています。行政各課の横のつながり、町民の協力による協働のまちづくりが必要とされている中、私自身その一助となるよう地元での活動を継続していきます。

3月定例会 傍聴者数

(本会議)

2月	15日	0人
	16日	1人
	21日	10人
	23日	2人
	26日	9人
	27日	0人
3月	9日	0人
	16日	1人

(委員会)

3月	1日	教育厚生	2人
		総務建設	1人
	2日	予算特別	0人
	5日	予算特別	3人
	6日	予算特別	0人
	8日	予算特別	0人

6月定例会は、
6月1日(金)
開会予定です。

平成30年 第1回 杉戸町議会定例会 議員別表決結果一覧

議案名		会 派 名		自民クラブ			是新		日本共産党		公明党		無所属					
		議員氏名		濱田章一	坪田光治	勝岡敏至	窪田裕之	大橋芳久	須田恒男	仁部前崇	原田壽々子	阿部啓子	森山哲夫	石川敏子	平川忠良	伊藤美佐子	宮田利雄	稲葉光男
町長提出議案	平成29年度杉戸町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成29年度杉戸町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成29年度杉戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成29年度杉戸町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成29年度杉戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成29年度杉戸町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	-
	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	棄
	杉戸町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-
	杉戸町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町職員の給与に関する条例及び杉戸町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-
	杉戸町課設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町町営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸宿魅力発信拠点施設設置及び管理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸屏風深輪産業団地企業誘致条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町介護保険条例の一部を改正する条例	修正案																
		原 案																
	杉戸町地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-
平成30年度杉戸町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	
平成30年度杉戸町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	
平成30年度杉戸町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	
平成29年度杉戸町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
平成30年度杉戸町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○印…賛成 ×印…反対 欠印…欠席 除印…除斥 棄印…棄権 ※議長は表決に参加しないため、「-」となっています。

編集後記

寒く、雪が多かった冬が終わり、待ち遠しかった春が訪れ、今年は例年より一週間程早く桜が咲き誇りました。3月議会では、平成30年度の予算が町民のための予算であるかを審議し、活発な意見を交わしました。

5月19日(土)には第12回議会報告会を町役場で行いますので、皆さまの御意見・御要望をお寄せ下さい。ご来場をお待ちしております。



議会に関するご意見・ご要望はこちらまで ▶ E-mail gikai@town.sugito.lg.jp